

茨高
茨中

春 秋

発行
茨高・茨中 P T A
代表 砂 押 完 児

編集
茨高・茨中文化広報委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)



中学・高校の 入学にあたって PTA会長 砂 押 完 児

PTA会員の皆様におかれましては、平素より茨城高等学校・茨城中学校におけるPTA活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。令和三年度茨城高等学校・中学校PTA会長の任を仰せつかりました砂押完児と申します。この大役を全うできるよう、皆さまと一年間奮闘させていただきます。この一年間奮闘させていただきます。この一年間奮闘させていただきます。

さて、本年度ご入学されました中学・高等学校の新生の皆さまにおかれましては、心からお祝い申し上げます。十代は人生において、自身自身で物事を判断する基礎力を養う大変重要な期間であると思っております。しかしながら、現在はコロナ禍で、学校教育の現場において、以前のような授業や部活動、体育祭、文化祭、校外学習等、この時期でしかできない貴重な体験が子どもたちから奪われてしまっております。ただ、前向きに考えれば、この困難の中でも貴重な機会を探し、最大限有効に、中高でしか得られないものを獲得していくという積極性は、きっと皆さまの力となっていくと思えます。また、大学入試制度も変化し、センター試験に代わり大学入学共通テストに、そして公立高校が附属中学校を併設し六年一貫教

育化していくという教育システムの転換期ともなっております。少子高齢化により、学校の生き残りという言葉が揶揄されてきたことに一因があるかとは思いますが、私としては各学校の独自性が求められる時代になつてきたのではないかと思います。インターネットやAIの発達により、物を知ることや調べることが簡単になり、逆に情報の洪水に呑みこまれてしまいうような今日において、重要な情報は情報に対する判断力、応用力や新しい発想だと思えます。コロナ禍という未曾有の困難や、前述した情報洪水、SDGsを始めとした新しい世界の在り方などの問題を抱えたこれからの社会は、困難を前向きに解決していく能力を持った今の子どもたちが切り開いていかねばならないのです。そのためには本学の教育目標「社会報恩に厚い真のリーダーの育成」が重要であり、本学の建学の精神である「報恩感謝」を見つめなおし、社会において自分がどうあるべきかを学ぶ必要があるのではないのでしょうか。困難な時代だからこそ、自分を鼓舞する指針としていただきたいと思えますし、本学で学ぶことができる意義であるとも思えます。

新型コロナウイルス感染症は社会に様々な分断をもたらしました。あたりまえだった対面でのコミュニケーションには制限が加えられ、感染者や医療従事者への差別が社会問題となりました。感染拡大抑止と経済活動優先の考え方の間には、現在も深い溝が存在しています。学校も例外ではありません。二〇二〇年の全国一斉休校では、学習面の遅れもさることながら、友人や先生に会うことができない子どもたちの心のケアが問題となりました。

一方で、『銃・病原菌・鉄』の著者ジャレド・ダイアモンド氏は、パンデミックが連帯をもたらす可能性について言及しています。新型コロナウイルスという脅威に対して、政治的に大きく二極化していたアメリカが、共和、民主、民主支持を問わず、一丸となって立ち向かった。同じように、今回のパンデミックは、世界的な脅威という認識を共有して、国際社会の団結を推進するかもしれない、というの

ヒトは社会を形成することで、ひとりややりたいことが見つけられるようお手伝いさせていたくことを約束して、挨拶に代えさせていたただきたいと思えます。

生態系の頂点に上り詰めました。鋭い牙や爪、速く走る脚を持たない人類が繁栄を手にした理由は、お互いがつながり合い助け合うシステムを構築してきたからです。そして、私たちはそのつながりのいくつかを、愛情とか友情、信頼などと名付けてきました。

他人との関係が制限されるコロナ禍の中でも、人と人とのきずなは存在しています。むしろそうした条件下だからこそ、いっそう「つながり」の大切さは増すのだと思えます。

六月、本校は二年ぶりの高校文化祭、中学体育祭を実施しました。規模を縮小し、一般公開は無しという異例の形式でしたが、実施できたこと自体に大きな意味があったと思えます。準備期間を含め、高校の各教室で、マस्क越しに熱心な議論が交わされ、文化祭企画が練り上げられていきました。グラウンドや体育館には、上級生が下級生を指導して応援合戦の練習をする中学生の姿がありました。

限られた条件の中、成功させたいという一人一人の思いが

つながりの力
校長 梶 克 治





入学から数か月が経ち、新たな環境や友人、中学時代よりも一段と内容が濃くなった授業にも少しずつ慣れてきたことでしょう。さて、皆さんは「これからの三年間が自分の人生にどんな意味をもたらすか」を考えたことはありませんか。私は、多くの人にとって高校時代の学びや経験は、その後の人生を生きていく上で土台になると考えています。高校時代に感じたこと、意識したこと、あなたが今後の進路・生活に影響していきます。その意味で、勉強や部活はもちろん、全ての活動に「自主的に、真剣に、全力で」取り組んでいくことが重要です。小説家の中島敦は「人生は何事もなすにはあまりにも長い、何事かをなすにはあまりにも短い。」という言葉を残しました。高校生活、悔いが残らぬよう、全力で駆け抜けてください。



高校一学年主任
秋田 拓郎



中学一学年主任
作山 友孝



二十七期生、一四二名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはどのような目標を胸に茨城中学校に入学しましたか。この春秋が発行される頃は夏真っ盛りの頃でしょう。入学してから数か月間を振り返ってみましょう。自らの茨中での生活ぶりは入学の時に思い描いた理想通りにいっているかな？ここで、入学時に掲げた「学年目標」をもう一度確認しましょう。

一、挨拶（挨拶は心の扉を開く「カギ」）

二、「一所懸命（そこにある何事にも全力で取り組め）」

三、克己（己の敵は己である。甘えを捨てよ。）

四、一日一日を省みて、昨日よりも素晴らしし自己の発見を

皆さんには、この中でも特に「挨拶」に全力で取り組んでもらいたいと思います。挨拶は気持ちを前向きにしてくれます。「心身ともに健康に」。これが一番の願いです。



高校1年E組



〈クラス目標〉 担任：高村 須恵
他者を知る。世界を知る。自分を知る。

高校1年A組



〈クラス目標〉 担任：関口亜希子
文化祭で上映した映画のように団結し
困難を乗り越えるクラス

中学1年A組



〈クラス目標〉 担任：吉田 尚史
「あ」かるく「し」っかりと
「た」くましく あしたにつながるクラス

高校1年F組



〈クラス目標〉 担任：鈴木普慈夫
夢に向かって全力投球！！

高校1年B組



〈クラス目標〉 担任：関 佑太
進学への意識を高めるとともに、将来の展望を考える。

中学1年B組



〈クラス目標〉 担任：金子 泰子
「百花繚乱」置かれた場所でそれぞれの花を咲かせよう！

高校1年G組



〈クラス目標〉 担任：渡辺 郁
困難に耐えるしなやかさ、先を見通す洞察、寛容、共感の力。

高校1年C組



〈クラス目標〉 担任：奥村 広太
1回の授業を大切に

中学1年C組



〈クラス目標〉 担任：遠藤 純
心身ともに「中学生」になり、学年のリーダーをめざす。

高校1年H組



〈クラス目標〉 担任：野口 綾音
REVOLUTION
～変化を起こせる人を目指して

高校1年D組



〈クラス目標〉 担任：須藤 岳志
それぞれが、充実感、達成感等の「～感」を得ること。

中学1年D組



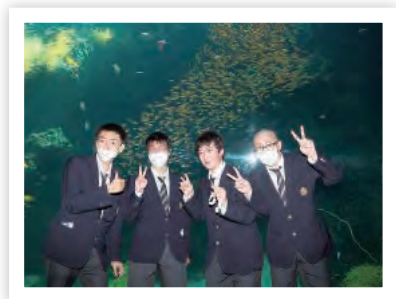
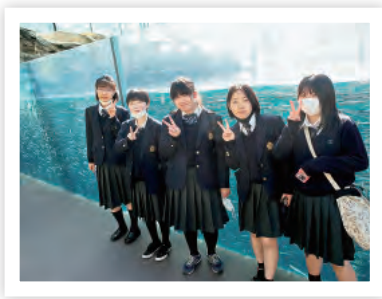
〈クラス目標〉 担任：福田 賢二
「かっこつけずにかっこつけろ！」

高三遠足

高校三年生主任 檜山 俊彦

やっと学年のみんなで校外活動です！
本年度、何とか行事を実施できないかと検討し、学年ごとに時期をずらして遠足を実施することを決めました。そして第一陣として高校三年生が四月に遠足に行ってきました。

バスは分散乗車でクラスはバラバラ、バス内のイベントもお菓子もない遠足です。今回の見学地は、「あぶくま洞」と「アクアマリンふくしま」で、三々四人のグループ行動で一日を過ごしました。短い時間ではありましたが、「仲間たちと何か一つのことを一緒に取り組む」という久しぶりの学校行事に、生徒たちは大満足の様子でした。



アクアマリンふくしま



あぶくま洞





総合ランキング
クラス企画総合
 1位 3-C
 2位 1-F
 3位 3-F



3-A

最後の文化祭、コロナで失われていた全員で一つの成功を目指すという青春はとても楽しく、これ以上の充実感を与えてくれました。実施に関わってくださった皆様、有難うございました。そしてこれから共に挑むA組の皆、有難う、頑張ろう。小澤 和弥

3-B

文化祭が日本で始まった当初は、主に生徒の有志やクラブ中心のもので、その後クラスや学校全体の大きなイベントになったとどこかで読んだ気がする。コロナ禍で我々が試行錯誤し作り上げた文化祭は、その「文化」の変遷の一部となったであろう。小松 星帆

3-C

私たちは、高校最後の文化祭でした。昨年実施できなかった分、クラス全員で楽しむことができました。加えていばら祭大賞もいただき、最高の思い出となりました。最後に文化祭を計画してくれた執行部の皆さん本当にありがとうございました。大嶋 偉吹

3-D

今回、僕達D組はクラス企画としてVS嵐とピタゴラスイッチを製作しました。クラス皆で団結して制作をすることが出来ました。コロナ禍であることを感じさせない、とても楽しい文化祭でした。本当にありがとうございました。小林 睦明



3-E

長いようで短い二週間、私達は「ばかっこのいい動画」をつくりつつ「オリジナル」のクラTも製作しました。コロナ禍ではありましたが、クラスの皆でDVDという形に作品を残すことができ良い思い出になりました。柏木 夏海

3-F

F組は、個性豊かすぎるクラスで文化祭もそれを存分に発揮してくれました。そして心強いサポートがあり、本当に楽しい文化祭になりました。大学受験もこの頼もしい仲間とともに頑張りたいと思います。中村 駿介

3-G

この文化祭を通じて、クラスの全員が団結し、素敵な作品を作ることができました。文化祭を実施できて本当に良かったと思います。開催して下さいました先生方、執行部の皆さん、本当にありがとうございました。桑山 佳奈

文化祭実行委員 遠藤 康先生
 コロナ禍での種々の制限、校内のみでの実施など、困難と混乱が予想された文化祭でしたが、何よりも執行部生徒の頑張り、実行委員の先生方の協力を得て無事終了できました。従来よりも生徒自身が楽しむ機会が増やせた文化祭となりました。

執行部委員長 根本 慎太郎
 コロナ禍で行事の自粛が続く中、感染予防をしながらはありましたが、皆様のお陰で素晴らしい文化祭を開催することができました。たくさん笑顔と大きなパワーを見ることができうれしく思います。ありがとうございました。



1-A

1-B

1-C

1-D

1-E

1-F

1-G

1-H

生物部
 例年とは異なる校内のみの公開で、ポスターの全面改訂を行いました。自分たちの調査にどんな意味があるのか、できるだけ分かりやすくまとめ、生物の魅力や調査の面白さを伝える工夫をした展示を行いました。

2-A

2-B

2-C

2-D

2-E

2-F

2-G

2-H

化学部
 今年は毎年行っていたカルメ焼き体験ができなかったが、多くの生徒が炎色反応の体験に来てくれました。生で炎色の変化を見たことがある人が少なかったため、楽しかったと言ってもらえることができてよかったです。

美術部
 今年は一般の方の来場がなかったため文化祭らしさを出すにも小規模になってしまいましたが、部員それぞれ協力して作品を作り上げる姿を例年どおり見ることができ、慣れない中でも文化祭を楽しめたように感じました。

史学部
 一昨年実施した土浦海軍航空隊に関する調査発表を中心とした企画展を開きました。外出自粛の影響で、昨年度は活動の主軸の巡検を行っていない中、一昨年の資料を用いて無事に終える事が出来て何よりでした。

C研
 今年度は、INSIDE A COMPUTERという企画のもと、iMacを分解しHDDをSSDに交換することで高速化を図りました。また3Dプリンターのデモンストレーション、自作曲のCD配布・シンセサイザーによる実演なども行いました。

囲碁・将棋部
 今回の文化祭で自由対局・世界の将棋の展示を行いました。また、部員達が作成した詰将棋の問題を集めた冊子を配布しました。自由対局のコーナーでは一・二年生が中心に来ており、賑わっていました。

漫画研究部
 ご時世で一般配布はできませんでしたが、協力者の皆様による素晴らしい作品の数々と部員によるこだわりの装丁が詰まった部誌が多くの方々の手に取っていただけましたこと、うれしく思いました。

競技かるた部
 競技かるた部は例年とは異なり百人一首についての展示とクイズを行いました。部員全員が初めての文化祭だったため準備が大変でした。ですが多くの生徒や先生方が見に来てくれて、嬉しさと達成感でいっぱいです。

ESS部
 今回ESS部は、初の試みである動画にての参加となりました！ どうすれば現場での臨場感や迫力を動画に乗せることができるのか、試行錯誤を繰り返しながら完成することができました。多少のハプニングはあったものの、とても楽しかったです！

放送部
 文化祭では校内放送のみ行いましたが、今年度から部員も増えたことに伴い、声劇や部活動のPRなども行いました。このように、学校行事の中でも部活動が積極的に活動できたことはとても良い経験となりました。

吹奏楽部
 文化祭は初めて今年のコンクールの曲を披露する機会となりました。多くの方に聞いて頂きコンクールに向けての励みとなりました。応援に応えるためにもこれからも音楽に真摯に向きあっていきたいです。



第52回 茨中体育祭 2021.6.6



生徒会長 菊池 栞愛

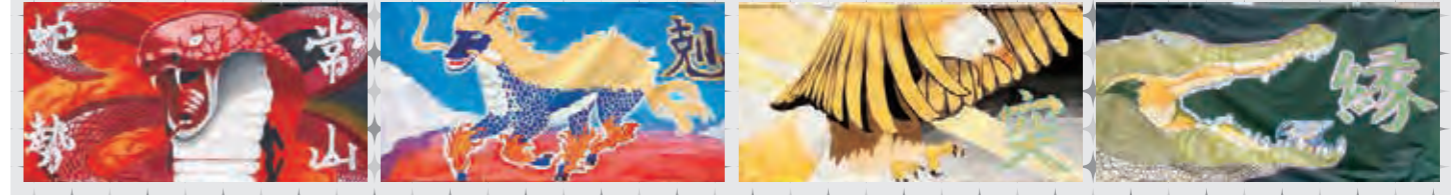
こんにちは。中学生徒会長の菊池栞愛です。今年度の体育祭は私たち三年生にとって一年ぶりであり二度目の体育祭であったため、二年前の先輩方の姿を思い出しながら後輩をまとめていくのは想像以上に大変で、戸惑うこともありましたが、先生方や友達と協力して乗り越えることができました。また、コロナ禍での開催ということもあり、様々なことが制限されてしまいましたが、それも新鮮で良かったのではないかなと思います。みなさんお疲れさまでした！

- 総合順位
- 1位赤組
- 2位青組
- 3位黄組
- 4位緑組



体育祭実行委員長 福田 賢二

校長先生をはじめ多くの先生方、関係者の方々の協力と、三年生を中心とした生徒たちの協力により素晴らしい体育祭を行うことができました。本当にありがとうございます。さて、生徒の皆さんは、この体育祭を通じて何を感得たでしょうか。三年生の涙を見て何を感得したでしょうか。「本気」で練習することから何を感得したでしょうか。きっと、それが茨中の体育祭で代々受け継がれてきた「想い」なのではないかと思えます。「想い」をつないでくれてありがとうございます。



赤組団長 渡邊 哲也

赤組団長の渡邊哲也です。今回の体育祭で赤組は、応援三位という悔しい結果もありましたが、ディスプレイ一位そして、総合優勝という素晴らしい結果を残すことができました。このような結果を残すことができたのは、三年生、二年生、一年生、そして先生方を含めた赤組全員が一丸となつて戦つた結果だと思えます。そして、このコロナ禍の中、体育祭を開催して下さつた先生方にはとても感謝しています。ありがとうございます。



青組団長 坪 遙翔

こんにちは。青組の団長を務めさせていただいた坪遙翔です。今年の結果は、総合二位、応援一位、ディスプレイ二位でした。青組は一昨年まで四年連続最下位だったので、かなり良い結果になったのかなと思っております。青組といえばやはり応援です。「演舞」と「千手観音」は今までもずっと引き継がれてきたものなので続けてほしいです。来年の体育祭がどうなるかは予測できませんが、後輩には頑張してほしいです。青組のみんなありがとうございます。



黄組団長 菊池 優希

僕は体育祭を通して、仲間と協力し互いに高め合うことの素晴らしさを身をもって経験しました。何もかも決まっていないうし不安な状況で練習が始まりましたが、応援団を中心とし互いに助け合つて後輩たちに教え合い、何度もくり返し練習を重ね、あのクオリティまですることができました。優勝こそ叶わなかったものの、僕は本当に黄色の団長になれてこれ以上ないくらい幸せでした。黄色を一人から作り上げてくれた応援のみんな、本当にありがとうございます。



緑組団長 大河 原隼

最初にコロナ禍の中、無事に体育祭を開催できたことに感謝したいと思えます。僕は今回緑組の団長として体育祭に参加しました。先輩から引き継いだ緑組の伝統を守ろうと精一杯頑張りました。短い時間でしたが、緑組の皆と素晴らしいソーラン節を作り上げることができてとても誇りしかったです。今回は残念な結果になりましたが、頼もしい一、二年生に緑組を託します。茨城中学校の体育祭を緑組で盛り上げてください。



新任教員の紹介

- ①好きなこと
- ②子供の頃の夢
- ③好きな本
- ④生徒の印象
- ⑤生徒達へのメッセージと自己紹介



遠藤 直美
(国語)

学生時代はそれほど共感した覚えもないのですが、なぜかここ数年は事あるごとに吉田兼好の「徒然草」を手に取って読んでいます。先の見通せない世の中だからこそ、先人の知恵が心に沁みるのでしょうか。深く感心させられることばかりです。

今年度、中学一年生の古典の授業を担当しています。生徒たちにとっても、今をよりよく生きるためのヒントとして古典文学を身近に感じてほしいです。



岡崎富基子
(数学)

①ピアノ、テニス、語学(伊・英)等日々練習して少しずつ上達を実感できることが好きです。

②子供の頃はキューリー夫人のような研究者に憧れていました。

③歴史に興味があり、最近は塩野七生のローマ人の物語を読んでいます。ローマ人ですごい！

④文化祭で茨高生の真の力を垣間見た気がします。頭も良くて協調性もある。頼もしいです。

⑤才能ある友人達に囲まれて夢が膨らむ時、どうぞ楽しんで！



小泉 壽明
(技術)

①「好きなこと」は、真空管で自作オーディオアンプを作り音楽鑑賞すること。②「子供の頃の夢」は、パイロットになること。③「好きな本」は、藤沢秀行著「人生、意気に感ず」、立花隆著「知の旅は終わらない」、郷土歴史の本です。④「生徒の印象」は、真面目な性格で学習を前向きに取り組みむ生徒が多い。⑤「生徒達へのメッセージ」は米国人クラーク博士の「Boys Be ambitious」です。



川崎 銀河
(理科)

①サッカー

②サッカー選手

③図書館戦争

④明るく活発

⑤こんにちは。物理を担当しています。川崎銀河と申します。私は茨高の十七期生で皆さんと同じ茨高生でした。

物理と聞くと難しいイメージを持つ人が多いと思いますが、少しでも皆さんにおもしろいと思ってもらえるよう頑張ります。一緒に楽しく学習しましょう。



鈴木 真緒
(保健体育)

①神社・温泉巡り↓パワーと癒しを求めに行きます。

②デイズニーキャスト

③マチネの終わりに

④目標や目的をもち、自ら考え行動できる生徒が多い印象です。

⑤保健体育科の鈴木真緒です。皆さんと出会えたこと、何かのご縁だと思っています。一緒に楽しい授業を創りましょう！よろしくお願います。



住谷 勇樹
(数学)

①音楽を聴きながらいろいろなことをすること。

②小学生の頃はプロ野球選手になりたいと言っていました。

③特に決まった本は無いですが色々な数学の本を少しずつ読むのが好きです。

④明るい印象もありますが、集中する時には集中する印象があります。

⑤自らが好きなことは様々な場面で自らを助けてくれます。どんなことでもいいので好きなことを是非突き詰めてください。

国際教養コース

出発報告

国際教養コース長

原 健一

国際教養コース生は、高校2年時に、半年の海外留学が必須となっております。本年度は、世界的なコロナ禍の影響で、留学が実施できるか危ぶまれましたが、行き先をニュージーランドからカナダに変更して実施可能となりました。8月末に出発し、1月末に帰国する予定です。1人1人が別々の高校へ行き、現地の高校生たちと同じ授業を受けます。出発が近づいてきて、コース生は期待と緊張が入り混じった気持ちで過ごしています。彼らがカナダでグローバルな視野を身につけて、茨高高校に新しい風をもたらしてくれることを期待したいと思います。

留学に向けて

2年H組

友常 理子

私達国際教養コースは、今年の8月からカナダのブリティッシュコロンビア州に半年間留学をします。デルタ地区、メープルリッチ地区、ラングレー地区の3つの地区にわかれ、一人ひとり違う学校に通い、各自ホームステイをして過ごします。新型コロナウイルスの影響で留学先の国や時期が変更になるなど予想外の出来事がありました。予想外の出発事もありましたが、クラス全員が留学に向けて英語力をはじめ様々な面で準備を進めています。担任であるジェフ先生のホームルームや、オンライングリッシュの授業などを通して常に英語が身近にある環境で学校生活を送っており、日々留学に対するモチベーションを高めています。

